

✓ で活きたと思います。

「ミスプラスに替える精神コ  
ントロールがまさに「身になった」  
選手たちを見て、県民や高校野球  
ファンは感心しました。

我喜屋 勝負の世界は、野球に限  
らず、社会や人生においても、嫌  
なことや辛いことに慣れるのが肝  
要です。つまり、抵抗力を身につ  
けることなのです。いろいろな嫌  
なことに抵抗力がつけば、世の中  
を渡っていくのです。逆境に負  
けたり、挫折するのは、抵抗力が  
足りないからです。

野球は人生の縮図です。1回か  
ら9回の間には、良いこともあれ  
ば悪いこともある。悪いことがあ  
ったとき、瞬間的に「くそっ！」  
というバネに置き換えられれば、  
悪いことがプラス材料になります。

選手たちには、「厳しい練習のな  
かで苦しい思いをあれだけしてき  
たじゃないか。その逆境に打ち勝  
つて、いまここにいます。エラーは  
試合につきもの。逆に、失敗は成  
功のもと。エラーをしても、良い  
ことをしちゃったな！…くらいに  
思えばいいんだよ」と言ってきた  
ました。もちろん、エラーを繰り返  
してはいけませんよ(笑)。

ある選手が試合でエラーをしても  
「OK！大丈夫だ、気にするな！」  
とチームメイトが声を掛ければ、  
その瞬間に、チームワークがより  
結束します。厳しい練習に耐え抜  
いてきた者同士ですから。

このように、選手たちが自分た



優勝報告会に大勢の野球仲間が参加



自分のことは自分で？ 興南高校野球部寮

ちで逆境を順境に替えたことは、  
今回のセンバツで、ウチがひとつ  
成長した一面でした。

「さきほど「開会のあいさつ」  
に立った浜川会長が、甲子園球児は、  
活躍した者ほど自ら落とし穴を掘  
ってしまう。つい、天狗になったり、  
相手をなめてしまうからだ…とあ  
るインタビューに答えていましたが、  
夏の甲子園大会に向けて、どんな  
アドバイスを選手たちにしていま  
すか？

我喜屋 甲子園を去るとき、選手  
たちにごう言いました。「桜の花  
はすぐに散ってしまう。次は、ま  
た花を咲かせることができるかど  
うかだ。そのためには、根をしつ  
かりさせなければならぬ。根が  
しっかりすると幹が太くなり、新  
しい花が咲く。優勝に伴う華々し  
い気分はもう終わりだ。沖縄へ帰  
ったら、根っこづくりに入ろう」。  
根っこづくりというのは、チーム  
づくり、練習です。

ところが、那覇空港へ帰ってき  
ましたら、報道の通りの大祝福で  
した。野球部の寮はしばらく、セ  
ンバツで活躍したシーンを伸ばし  
た写真とお祝いの花だらけでした。  
しかし、先日、選手たちが寮母に「写  
真や花をはずしていいですか」と  
申し出たそうです。彼らの気持ち  
はすでに切り替わっています。

(＊続きの一部をご覧になりたい  
方は、tackler@itkenf.or.jp  
「ウチナータイムス」参照)

### 「夏もー」の檄に拍手

我喜屋監督が、司会者から繰り  
出される質問に対し、「選手たち  
の五感を日頃から磨かなければ、  
グラウンドで第六感も決して働か  
ない」なご丁寧な答えを聞いた後、  
板谷幸子さん・菜穂子さん親子が  
登壇した。

板谷さん親子は、甲子園へ向か  
う直前に千羽鶴を贈呈。「あの千  
羽鶴のおかげで優勝できた」とい  
う我喜屋監督と再会を果たし、固  
い握手を交わした。

報告会はその後、「これをやって  
送り出したから優勝できたんだよ」  
の大声で始まった大里一雄さんに  
よる「団結の拍手」、甲子園まで  
応援に駆けつけて地元紙にコメン  
トが載った比嘉謙二・応援隊長長  
による閉会の挨拶で幕を閉じた。

「夏もー」と叫んだ比嘉隊長の  
檄でわき上がった大きな拍手が、  
いつまでも会場に熱気の余韻を残  
した。

### 沖縄県早朝野球 4月25日の試合予定

- 瀬長A球場  
メッツ対前田鶏卵B  
(壘審・沖縄複写センター)
- 瀬長B球場  
チームNS対遊人会  
(壘審・ドルフィンズ)

- 瀬長C球場  
垣花球友会対城岳ヒヤッティーズ  
(壘審・ミッキー歯科)
- 瀬長D球場  
テンポンドジャパン対天狗  
(壘審・NTガイズ)

＊6時30分試合開始  
＊球場は協会の確認を。  
問い合わせ ☎090(3  
794)8735  
浜川(17時以降)